



肥大型心筋症ってなに?

どんな
病気?

心臓の筋肉に異常があり、心臓のポンプ機能が低下することで血液の循環が悪くなる病気。

大きく分けて肥大型・拘束型・拡張型がありますが、猫にとくに多いのが肥大型心筋症です。

主な
初期
症状

- すぐに疲れてしまう
- 運動するのが嫌がるなど

肥大型心筋症を発症すると心筋が厚くなるため、その分心臓の中の、血液を貯めておくスペースが狭くなり、全身に十分な血液を送り出せなくなります。結果、バランスをとるために心拍数や血圧を上げて対処するため、体は疲れやすくなります。



原因と
予防

初期に発見するには?

肥大型心筋症は初期症状がわかりにくいのが特徴で、前兆なく突然倒れるケースもあります。そのため初期に発見するには、定期的に検査を受けるしかありません。とくに心臓超音波検査が重要で、近年では精度の向上により、早期の心筋症でも正確に診断ができるようになりました。

病気の進行具合を確認するには?

心拍数は自宅でも測ることができるので、異変にいち早く気付くためにも、毎日の習慣にしましょう。心拍数は、猫の左右の脇の下に両手を入れて、トクトクという鼓動を数えます。正常な猫の心拍数は、安静状態で1分間につき130~160拍(心拍数は10秒間の鼓動を数えて6倍にすると求めやすい)。



治療法

肥大型心筋症を完治させる治療法はなく、ひとたび発症すると一生の付き合いになります。治療は、投薬で病気の進行を遅らせ、症状を緩和させることが中心です。また、肥満になると心臓に負担がかかるため、カロリーを制限して体重管理をしっかり行なうことも大切です。



ねこに多い病気、そこが知りたい! は「ねこのきもち」で連載中!

●こちらは、掲載した記事を再編集したものです。

アニコム損保ご契約者が
マイページから定期購読を申込みと
2号 (2ヶ月分) **無料!!**